



2022年6月20日

株式会社 阿波銀行

茂弘海運有限会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、茂弘海運有限会社（代表取締役 撫中 一弘、本社：徳島県阿南市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	茂弘海運有限会社
所在地	徳島県阿南市見能林町青木 338 番地 11
代表者	撫中 一弘
業種	海運業
設立	1979 年 12 月 10 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年6月20日



茂弘海運有限会社 代表取締役 撫中 一弘

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境 社会 経済	DXの推進 安全運航 環境負荷低減	IoT、ビッグデータ、AIなど デジタル技術の活用 環境規制への対応(燃料消費 量削減・CO2削減)	①航海最適化ソリューションを 活用した安全運航および 燃料消費量削減・CO2削減		
			②2025年に無事故無災害20年継続表彰 先進二酸化炭素低減化船を 2030年までに導入		
社会 経済	職場の安全 衛生の向上	労働災害の防止のために、 社員一人一人へ 安全衛生に関する様々な 機会を提供することに 努めます。	①船内安全衛生パトロールの実施による PDCAサイクルの構築		
			②1か月に2回以上実施		
社会 経済	働きがい	社員一人一人が 仕事に対して 高い意欲を持ち、 自己実現の場として 働きがいを感じられる 環境を目指します。	①資格取得費用の補助、 資格手当付与制度の整備		
			②船舶職員の各種資格取得費を一部補助 未経験者の国家資格取得までのサポート		
社会 経済	教育への貢献	自社のリソースを最大限 活用し、地域の教育に 貢献する活動を行います。	①(1)職業体験や出前授業の企画・実施 (2)地域教育機関からの インターンシップの受入れ		
			②(1)地域の子供たち向けの就業体験を 毎年1回以上実施 (2)実習生を毎年1名以上受入れ および実習船の提供		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。